

Premium Textile Japan2022Spring & Summer 開催報告

- 会 期 : 2021 年 5 月 25 日 (火)、26 日 (水)
- 会 場 : 東京国際フォーラム ホール E 1 (3,000 m²)
- 主 催 : 一般社団法人日本ファッション・ウィーク推進機構 (JFW)
- 後 援 : 経済産業省 独立行政法人中小企業基盤整備機構
独立行政法人日本貿易振興機構 (ジェトロ)
一般社団法人日本アパレル・ファッション産業協会、日本繊維輸出組合 日本繊維輸入組合
- 来場者 : バイヤー及び招待者限定 [事前登録制]



JFW が主催する PTJ2022SS 展が 5 月 25 日、26 日に、東京国際フォーラムにて開催された。非常事態宣言が延長となったが、JFW では国や東京都が決めたイベント開催規定よりも、更に厳しい措置 (最大滞留人数を 750 人* とし、必要に応じて入場制限を実施/看護師の常駐など) を施して開催した。

* 会場面積 3,000 m² ÷ 4 (社会的距離 2 m × 2 m) = 750 人

今回の出展エントリー数は前年実績の約 80%。会期直前に出展を取りやめた出展者もあり、地方在住者からの来場は期待できないことから集客に不安もあったが、開幕直後から多くの人々が訪れ客足は途絶えなかった。特に 2 日目の午前中は例年通りの来場数があり、一時入場規制を掛ける程の賑わいだった。だが、TOTAL の入場者数に関しては 4,132 人と一昨年展に比べ 70%となった事で、全体的に減ったと云うよりも、常に賑わっているブースと来場者が少ないブースが明確になった会期でもあった。それでも出展者・来場者からのコメントはポジティブなものが多く、改めて“直接生地に触れて交流できるリアル展の重要性”が確認された。

■ 出展エントリー数 : 75 件 99.5 小間 (前年エントリー実績 : 95 件 / 124 小間)

◇件数/小間数	件数	小間数
国内	72	96.5
海外 (イタリア、韓国、トルコ)	3	3
合計	75	99.5
◇ ゾーン別内訳	件数	小間数
A: 織物短繊維(コットン、麻、ウール、複合)	33	41.5
B: 織物長繊維(化合繊、シルク、機能素材、複合)	20	30
C: 染色・後加工、プリント、刺繍・レース、皮革	14	17.5
D: 服飾資材、ニットファブリック、撚糸、パイル	8	10.5
合計	75	99.5

2022 SPRING SUMMER



Premium Textile
Japan



<新規出展者 : 7 社> ナカハネインターナショナル(株)、龍田紡績(株)、島浪捺染(有)、(株)シャンブレイ、(株)サンアルファー、(株)ヒライコーポレーション、木曽川染絨(株)

■ 来場者数

カテゴリー	アパレル・小売	問屋・商社・企画会社	PRESS	主催関係者・団体関係	Visitor	TOTAL
来場者数	2,003	1,536	80	69	444	4,132
						前回 (PTJ2020SS) 比: 70%

■ TREND & INDEX コーナー

今回展の施工テーマは『EARTH』。“地球環境”“再生”等とサステナブルを意識して従来の木工を多用せず、環境負荷が低いダンボール素材を使用。巨大なホワイトボードを使用し、4つのトレンド・テーマをダイナミックに表現した。特に前回アピール不足だったサステナブル Project は該当素材を集積したトレンド「センス・オブ・ワンダー」を、1番前面に設置してアピールした。また、今回は密になり易いテーブル展示をやめて閉鎖的にならないオープンな仕様とした。

<展示点数> TREND:462 素材 (内、サステナブル: 159 素材)、服飾資材: 19 点 (内、サステナブル: 4 点)
INDEX: 219 素材 (内、サステナブル: 68 素材)



■ デジタル INDEX コーナー

JFW Textile
Online SALON

今回の PTJ ではトレンド&インデックスコーナー横の導線を利用しデジタル INDEX コーナーを設置した。ここでは5月運用開始の「JFW テキスタイル・オンラインサロン」の機能説明と告知を壁面パネル使って行い、説明要員を配置した。更にJTO 掲載各社の QR コードを並べ、来場者が QR コードを読み取る事で任意企業の素材が閲覧出来る設計にした。



■ 関連プログラム

« Textile Workshop ~日本の素材を学ぼう~ »

JFW では業界人となって間もない(職歴5年未満)商品企画従事者を対象に“寺子屋”をイメージした Textile Workshop を実施している。PTJ 出展の産地企業人を講師として招き、毎回対象素材を変えたレクチャーを行う事で、日本製素材や産地への認識を深めて貰う事を目的とする。今回はサステナブルをテーマに産地講師に講演して頂きました。



□ 受講者：アパレル・服飾雑貨メーカー、小売り、デザイナーメゾン等に勤務し、
商品企画、素材仕入れに携わる若手社員 ※学生不可

□ 産地レクチャー

➤ 5月25日（火）＜原料におけるサステナブル＞

【講師】株式会社パノトレーディング 取締役 三保 真吾 氏

講演内容：当社は 1990 年代初頭よりオーガニックコットンの取り扱いを開始。以降、原料の直接調達から国内生産のテキスタイル、オリジナルブランドに至るまでオーガニックコットンに特化した事業を展開。三保氏はオーガニックコットンを扱う際の最重要事項に“透明性”を挙げる。「当社はサプライチェーンの全工程をオープンにしている」とトレサビリティの必要性を強調している。また農地から生地に至るまで全てのサプライチェーンを可視化するウェブサービス等を紹介した。

➤ 5月26日（水）＜染色・加工におけるサステナブル＞

【講師】山陽染工株式会社 企画開発課課長 繊維製品品質管理士 森原 聡 氏

講演内容：当社は備後絨をルーツに持ち、晒、無地染、捺染に加え生地でのインディゴ染や抜染、段落抜染などの特殊技術を有する。染色・加工でのサステナビリティの取組みについては、天然ガス・ボイラーの導入による排出ガス削減や無水染色の推進などに取組む。森原氏は「今後はサステナビリティを基軸に事業戦略を見直す必要がある。高い透明性をもって技術力などの情報を発信できれば大きなチャンスをつかめる」と意見を述べた。



(株)パノトレーディング 三保 真吾 氏



資料素材を見る受講者



山陽染工(株) 森原 聡 氏

~~~~~<会場風景>~~~~~



## ■ PTJ2022SS 新型コロナ感染症予防対策

- 手指消毒液の設置／設置場所：展示ホール入退場口 2ヶ所+場内 5ヶ所
- 非接触型体温計による体温測定の実施／実施場所：展示ホール入り口 2ヶ所
- 37.5℃以下の検温済みの方には、検温済みカードを配布（ネームホルダーに差込み）
- 主催関係者（施工人工、搬入業者含む）は会期 2 週間前より体温測定・記録
- マスク着用の徹底（主催関係者、出展者、来場者）
- 注意喚起の看板の設置：咳エチケットと頻繁な手洗い、マスク着用
- 看護師の常駐、救護室の設置（国際フォーラム内の救護室を利用）
- 事前登録制による入場
- 事前に来場者へ注意喚起の告知
- 出展者のアテンド人員制限を実施（4㎡／1人）
- 最大滞留人数(出展者・来場者)を 750 人とし、必要に応じて入場制限を実施



### 感染防止徹底宣言



### 主な感染予防対策とお願い



## 当展における 新型コロナウイルス感染症予防対策

### Prevention Measures against Novel Coronavirus

#### 【事前感染症対策】

1. 平熱を超える発熱や咳、のどの痛みなど風邪の症状、臭覚や味覚の異常のある方、倦怠感のある方の来場は避けてください。
2. 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触のある方、同居家族や身近な知人に感染が疑われる方、過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合、来場は避けてください。

#### 事前登録制による入場

Entry allowed for pre-registered visitors.

#### マスク着用のお願い

Wear face mask.

#### 消毒液の設置

Sanitizers are placed.

#### 看護師の常駐(予定)

A nurse on duty at all times. (Provisional plan)

#### 最大同時入館者を750名以内に制限

Max. number of admissions  
at one time is set at 750.

#### 出展ブースアテンドの人数制限

Restricted number of attendants  
at exhibitor booths.

#### 入退場口を限定し、来場者のチェック

Restricted entrance gates for the visitor check.

#### 検温を実施

(37.5度以上の発熱がある場合、入場の禁止)

Mandatory temperature check.

(No admission for the person with fever higher than 37.5°C.)

#### スタッフは

マスク・フェイスシールドを着用

Staff wear face masks/face shields.

#### 館内の定期的な換気

Keeping regular air ventilation.

#### 共有スペースの定期的な消毒

Regular cleaning of public spaces.

#### 最大人数を超えた場合は、入場制限

Admission restriction in case of over-capacity.

#### 社会的距離(1m以上)の確保のお願い

Keep social distancing (1m~).

#### 接触感染を防ぐため

印刷物の配布を制限

No printed materials handed out to avoid contact infection.



新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCOA)の  
インストールにご協力をお願いします。

iPhoneの方はこちら



Androidの方はこちら



www.japancreation.com www.ptjapan.com